

自宅が安全なら在宅避難

災害時に開設される避難所・避難場所では、多くの避難者が集まり、利用できるスペースも限られていて、プライバシーの確保が難しい場合があります。災害発生時でも、自宅で安全に生活できる場合は在宅避難をしましょう。

利用スペースが限られており、**プライバシーの確保が困難**



在宅避難等

在宅避難のポイント

- 自宅にいても救援物資(生活物資)を受取ることができる。
- 在宅避難に備えて、水や食料、簡易トイレ等の備蓄品を1週間分(最低3日分)準備しておく。
- 大地震や台風の際に開設される避難所・避難場所だけでなく、親せきや友人の家への避難も検討する。



在宅避難の注意点

- 救援物資(生活物資)は自分で地域防災拠点へ取りに行く必要がある。
- 自宅にいても情報を入手できるよう、テレビやラジオをつけておく。

